

# 他委員会との交流大歓迎！ 医薬バイオ

医薬・バイオテクノロジー委員会 委員長

白木 良太氏

(所属：アステラス製薬株式会社)



## interview

### 自己紹介

突然ですが、ダイレクト三々という言葉をご存じでしょうか。囲碁ファンにはおなじみのワードですが、序盤早々、相手の星に対して直接に三々に打ち込んでいく手段を指します(？の方も多いかも)。以前は悪手として避けられていましたが、AIの出現により棋士の間でも普通に打たれるようになりました。古いアイデアを否定せず新しいものとするAI時代、考え方の柔軟性を保つようにはしています。

### Q 研究テーマとそれらを選んだ背景・理由は？

2024年度は以下の5つの研究テーマがあります。いずれも複数年度テーマとして、しっかりと研究テーマに向き合い、成果を質の高い論説として発表しています。

「次世代技術（マイクロバイオーム）の出願や各国の審査状況に関する研究」

「Amgen v Sanofi米国最高裁判決後の影響」

「モダリティ（DTx含む）毎の特許延長、データ保護に関するグローバルでの調査研究」

「ライフサイエンス分野における的確な保護を求めるためのグ

ローバルな意見提言発信」

「DSIを含む遺伝資源と知財制度に関する研究」

### Q 委員会の特長/魅力は？

ライフサイエンス分野に関連する技術分野の広がりに伴い、当委員会は製薬、食品にとどまらず幅広い業種の企業から構成されています。さらに、賛助会員である大学、特許/法律事務所の参加も受け入れており、企業、アカデミア、専門家それぞれの考え方に触れることができます。

また、当委員会では基本的に毎月、全体委員会（内2回（10月、3月）は宿泊合宿）を開催しており、委員会内の小委員会メンバーだけでなく委員会メンバー全員と交流できる機会が多いことも魅力の一つです。

### Q 委員会としてのこだわりは？

多くの専門委員会がある中に医薬・バイオテクノロジー委員会が存在しているのは、他の専門委員会では扱いにくい医薬・バイオ関連について、専門的な調査研究が可能である強みを有しているからです。この強みは維持しつつも、「井の中の…」とならないよう、バランスを取った委員会活動に努めています。